



※約束カードは、パウチフィルムをかけて下敷きとして利用する。

◇指導のねらい

- ①学校生活上の不適切な行動の改善を図る。
- ②役割の理解と行動を促す。
- ③対象児の自尊感情を育てる。
- ④対象児周辺の児童の好ましい評価を引き出す。

◇基本の使い方

- ①取り組む内容について事前に本人、担任、コーディネーターで話し合う。
- ②カード、記録表を作成する。
- ③本人、担任、教科担任、コーディネーターで実施について最終確認する。
- ④授業、一日の始めに努力項目を本人、担任（教科担任）で確認する。
- ⑤実施

◇指導の評価

- ①授業後、対象児は評価カードを持って担任(教科担任)に申し出る。
- ②約束が守れたか、どうかについて担任(教科担任)と協議する。
- ③守れたら、トークンエコノミー(シール)をあげる。
- ④シールが10枚(注1)たまったらご褒美として(注2)ができる。

(注1)

・担任は10枚とか教科担任は6枚などで約束する。

(注2)

・パソコンを1時間使用、オセロ、将棋などを1時間できるようにした。この他、本児の得意な面を生かして学校内で許容できることがよい。